

簿記入門

指導目標	簿記に関する知識と技術を習得させ、その基本的な仕組みについて理解させる。		
教材	教科書：新簿記 実教出版 学習書：新簿記 新訂版 学習書	レポート 面接指導 放送 効果測定・試験	全6回 必要時間数：2時間 全9回（WEB視聴） 年度末試験（1月）
単位	3単位		
評価	レポート提出状況（提出期限）および各回評価、スクーリング出席状況（必要時間の出席充足）、放送視聴状況、試験結果等総合的に評価し判定。		

	添削指導（レポート）	面接指導（スクーリング）	放送（NHK高校講座）	オンライン指導	到達度チェック 年度末試験
月	回（提出期限） 指導単元・項目	週 指導内容・学習活動等	回 内容	にて視聴可。	内容・範囲
4		1 記帳練習が重要。教科書や学習ノートの例題や問題を活用しながら説明をしてほしい。 2 説明できない部分については【ネット授業】や【高校講座】を活用、視聴するように説明してほしい。	1 1回～9回までの視聴 E放送は夏期・冬期まとめて放映	ネット授業 レポートの回毎にリアルタイムにて授業を実施。 視聴できない場合でもVOD	
		3 第1回レポートの範囲 4 (1) オリエンテーション 学習ノートp.1～p.3を参考に簿記の学習のしかたを説明。 1 (2) 複式簿記とはどのようなものか、その概要を理解させる。 2 (3) 簿記の目的について説明し理解させる。 3 (4) 資産・負債・資本の種類と内容を理解させる。 4 (5) 貸借対照表（期首）について説明し、その形式・作成方法を理解させる。 5 (6) 資産・負債・資本の増減による純損益の計算方法について理解させ、さらに資本等式・貸借対照表等式を理解させる。	1 はじめよう 簿記！～資産・負債・純資産～ (第1回レポートの範囲)	オリエンテーション (VOD) 学習のしかたの説明	
5		1 (2) 複式簿記とはどのようなものか、その概要を理解させる。 2 (3) 簿記の目的について説明し理解させる。 3 (4) 資産・負債・資本の種類と内容を理解させる。 4 (5) 貸借対照表（期首）について説明し、その形式・作成方法を理解させる。 5 (6) 資産・負債・資本の増減による純損益の計算方法について理解させ、さらに資本等式・貸借対照表等式を理解させる。	2 財産はいくらある？～貸借対照表～ (第1回レポートの範囲)	ネット授業 範囲：第1回レポート	
	第1回 (6月10日)	第1章 簿記の基礎 第2章 資産・負債・純資産（資本）と貸借対照表 教科書p.8～p.22	1 (7) 期末の貸借対照表の作成方法を理解させる。 2		
6		3 純損益の計算方法について理解させ、さらに資本等式・貸借対照表等式を理解させる。 4 第2回レポートの範囲 (1) 収益・費用をどのように考えればよいかを説明し、損益法による純損益の計算方法を理解させる。 1 (2) 収益・費用の種類と内容を理解させる。 2 (3) 損益計算書について説明し、その形式・作成方法について理解させる。 3 (4) 財産法と損益法の純損益が一致することについて、貸借対照表と損益計算書により確認させる。 4 (5) 取引を分解し、勘定記入の方法にあてはめて説明し、取引の二面性と貸借平均の原理を理解させる。 ※この段階で勘定科目を五つの要素に分類できること、取引を書く勘定	3 もうかるとは？～収益・費用～ (第2回レポートの範囲)		
			4 勘定って何？～取引と勘定～ (第2回レポートの範囲)	ネット授業 範囲：第2回レポート	
7		1 (2) 収益・費用の種類と内容を理解させる。 2 (3) 損益計算書について説明し、その形式・作成方法について理解させる。 3 (4) 財産法と損益法の純損益が一致することについて、貸借対照表と損益計算書により確認させる。 4 (5) 取引を分解し、勘定記入の方法にあてはめて説明し、取引の二面性と貸借平均の原理を理解させる。 ※この段階で勘定科目を五つの要素に分類できること、取引を書く勘定			

8	第2回 (8月10日)	第3章 収益・費用と損益計算書 第4章 取引と勘定 教科書p.23～p.37	1 2	に記入できるように、数多くの練習問題に取り組みさせてほしい。			
			3 4	第3回レポートの範囲 (1) 仕訳・T字形勘定への転記(相手勘定科目の記入も含めて)について、実際に仕訳し転記のしかたにつて理解させる。	5 (第3回レポートの範囲)	簿記は仕訳が命 ～仕訳と転記～	
9			1 2	ここは、簿記の基本なので、できれば記帳練習をさせてほしい。 正式な仕訳帳と総勘定元帳の記入は、(第6章の仕訳帳と総勘定元帳)5・6回レポートにて出題されているため、簡単に触れる。			
			3 4	(2) 試算表の種類・作成方法について学習させる。 (3) 精算表のしくみを理解させ、6桁精算表の作成方法を学習させる。	6 (第3回レポートの範囲)	決算前にチェック!～試算表と精算表～	ネット授業 範囲:第3回レポート
10	第3回 (10月10日)	第5章 仕訳と転記 第6章 仕訳帳と総勘定元帳 第7章 試算表 第8章 精算表 教科書p.38～p.61	1 2				
			3 4		5 (第3回レポートの範囲) 復習として再度視聴するとよい	簿記は仕訳が命 ～仕訳と転記～	
11			1 2	第4回レポート 略式による簿記一巡の手続き 第1回～第3回レポートの復習。学習ノートの前半のまとめを参考に記帳練習をさせてほしい	6 (第3回レポートの範囲) 復習として再度視聴するとよい	決算前にチェック!～試算表と精算表～	ネット授業 範囲:第4回レポート
			3 4		9 (第4回・第5回・第6回レポートの範囲)	簿記マスター演習～簿記一巡の手続き～	
12	第4回 (12月10日)	簿記の基礎のまとめ 第5章～第9章 略式 教科書p.8～p.74	1 2	⑦⑧⑨ 第5回・第6回レポートの範囲 (1) 簿記の総まとめとして、実践レポート(B5冊子)として、第4回レポート、第5回レポートの2回分を課した。学習ノートp.53東京商店の一会計年度の取引や類題等を学習させ、正しい順序で記帳できるよう理解させる。	7 (第5回レポートの範囲 発展課題)	当期はもうかった?～決算(1)～	ネット授業 範囲:第5回・第6回レポート
			3 4	(2) 作成上の注意事項 ・レポートは、第4回・第5回の2回分をまとめて提出。 ・レポートの白い部分は全員課題提出である。網掛け部分は発展課題である。自由課題ではあるが、取り組める人は取り組んでほしい。	8 (第5回レポートの範囲 発展課題)	決算をやってみよう～決算(2)～	
1	第5回・第6回 (1月10日)	簿記の基礎のまとめ 第5章～第9章 教科書p.8～p.74	1 2	・ネット学習生は、第4回・第5回レポート(紙B5冊子)を教材として送付してあるので、このレポートに取り組んだあと、ネット学習上に解答を入力する。	9 (第4回・第5回・第6回レポートの範囲)復習として再度視聴するとよい。	簿記マスター演習～簿記一巡の手続き～	年度末試験 (レポート第1回～第4回) 学習ノート末にある「学習のまとめ」に取り組むと良い。
			3 4	年度末試験の範囲 第1回レポートから第4回レポートの内容の中で、仕訳・転記の問題、6桁精算表が作成できるよう復習。学習ノート末にある「前半の学習のまとめ」の問題を活用するとよい。			1月 日～

2		1			
		3			
3		1			
		3			